

〔玉城 勇議員 登壇〕

○1番 玉城 勇君 それでは平成30年度第4回定例会における一般質問を行いたいと思います。きょうは4点の質問を行います。

1点目に、東部消防組合消防本部消防庁舎建設を問う。（1）東部消防組合消防本部消防庁舎は耐震診断の結果、震度6以上の地震振動及び衝撃に対して倒壊し、崩壊する危険性があると診断されました。管理者として町長はどのように考えておられるかお伺いします。（2）総務省消防庁の消防力の整備指針第23条には消防本部及び署所の庁舎は耐震災害及び風水害時等において災害応急対策の拠点としての機能を適切に発揮するため、十分な耐震性を有し、かつ浸水による被害に耐え得るよう整備するものとするがどう思われるか。議長、休憩をお願いします。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後1時52分）

再開（午後1時52分）

○議長 知念富信君 再開します。1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 失礼しました。「長期計画」の次に括弧を入れまして、（2018年から2027年）で、「に」の間に挿入をお願いします。それから、その次の「緊急防災事業」というのがございますが、「緊急防災」の次に「・減災」という文字を「事業」の前に挿入をお願いします。よろしくをお願いします。

それでは（3）東部消防組合中長期計画（2018年から2027年）において平成32年度までの緊急防災・減災事業債活用の検討もあったが進捗しているかお伺いします。

2点目に、東部消防組合分担金についてお伺いします。（1）平成30年度東部消防組合への分担金は、平成29年度基準財政需要額の78.9%であるのはなぜなのかお伺いします。

3点目、南風原町立体育館建設についてお伺いします。（1）南風原町民の健康づくりと健康増進のため、以前より町民から体育館建設の要望があります。財政状況も厳しいと思いますが、新たな財源も検討しながら町民体育館の建設に向けて取り組んでほしいが、お考えをお伺いしたいと思います。

4点目、町民農園の設置の検討をお伺いします。（1）南風原町民の生きがいと健康づくりのため、多くの町民が畑で農業をやりたいと希望しております。町民農園設置の検討ができないかお伺いたします。以上、よろしくをお願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の東部消防組合消防本部消防庁舎建設を問う。

（1）についてお答えします。消防庁舎は地域の防災拠点施設であり、周辺地域被災した場合においても、初動対応及び応急対応が支障なく開始できる活動拠点としての機能が保障されていなければなりません。このことから、東部消防組合消防本部庁舎の耐震診断の結果から、耐震補強や建てかえなど、消防庁舎の管理のあり方について検討を進める必要があると考えております。（2）についてお答えします。消防庁舎は、地震・津波災害、あるいは台風など風水害時等において、災害応急の拠点としての機能を適切に発揮することを求められている施設であります。被災により使用不能となることがないように、管理する必要があるものと考えております。（3）についてお答えします。国の有利な事業債である緊急防災・減災事業債を活用するためには、耐震診断の調査及び耐震補強に関する調査が必要となります。このことから、平成29年度に出された耐震診断の結果及び平成30年12月末に報告予定の耐震補強調査結果報告を踏まえて、今後の検討を行っていく必要があると考えております。

質問事項2点目の東部消防組合分担金についてお答えします。平成30年度の東部消防組合の分担金については、高齢者化社会に伴う高齢者医療、介護費など社会保障関係費の増加による自治体の厳しい財政状況が続く中、東部消防組合につきましても、中長期的な視点を持ち、経費の平準化、事業の優先順位を明確にするなど、後年度への財政負担を十分考慮しつつ、構成する3町の財政状況など、総合的に勘案した結果であります。

質問事項3点目の南風原町立体育館建設についてお答えします。黄金森公園の変更区域において、運動施設の設置を検討しております。なお、施設等について検討委員会で検討してまいります。

質問事項4点目の町民農園の設置の検討をにお答えします。JAおきなわ南風原支店が窓口となっている町民農園が、喜屋武土地改良区内にあり、希望者に案内しております。また、町で管理している農地がなく、現在行っている農協が農園関係に詳しいことから、町の町民農園設置については検討しておりません。以上です。

12月18日（第4号）一般質問

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 それでは再質問を一つずつさせていただきたいと思います。1番目の（1）についてでございますけれども、実は、耐震診断が平成29年に行われまして、その結果、現東部消防組合消防庁舎は建てかえる必要があるという結果が出ております。それを受けて、平成29年度から平成30年度にかけて、3名の管理者の皆さんは、既に建てかえる検討を進めていたはずなのです。ところが最近、耐震化についての調査を行うというお話が出ておりますけれども、それに3名の管理者が平成32年度をめどに、建てかえの事業を進めていこうというお話を聞いておりますけれども、それについて、どのようにお考えなのか。再度お考えをお聞きしたいと思っております。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 答えいたします。まず診断の結果には3通りありまして、IS値ということが0.3未満、0.3から0.6未満、0.6以上ということで、診断の結果が3種類ありまして、東部消防本部はその中間の震度6から7程度の地震があった場合には、その衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性があるという診断が出ていることから、やはり今後、見直し、検討は必要だと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 平成29年度の庁舎の耐震診断結果については、検討しなさいとはあるけれども、倒壊するおそれがある。その原因としては、ひび割れをしている。それから鉄筋の腐食が進んでいるという結果が出ているわけです。それと、東部消防庁舎の、消防庁舎ということで、非常に間口が広くて、そのための耐震化が非常に悪いという結果が出ているわけですが、やはりそれを受けて、3管理者の皆さんは早急に検討委員会を立ち上げて、検討を進めていくというのが平成29年度に話し合われて、平成30年度にはそのような方法で進んでいくという状況だったと思います。ところが、それが平成30年度になって、耐震化の調査が出てきているわけですが、それはなぜなのか。建てかえをしないといけないという思いというのは変わっていないと思います。それについて変わっているのかどうか。もう一度お答えをお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 その耐震化基準を満たすような建物に変えていかなければならないという認識は変わりありません。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 今の総務部長の答弁に対して、町長は同様なお考えを持っておられますか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 答えいたします。消防庁舎に関しましては、議員のご質問にもございますように、耐震診断の結果から、耐震補強やその建てかえの必要性があるということとは、答弁の中でも申し上げているわけですが、私が引き継ぎをいたしました時点では、この耐震の診断の結果、建てかえが必要かもしれないけれども、ただそれは耐震補強では対応できないのかとか、そういったお話を聞きました。その後、消防の事務局に確認いたしましたら、先ほど答弁しましたとおり、12月末あたりには耐震補強で可能なのか、あるいは是非とも建てかえないといけないのか、そういった報告がなされると聞いております。そういうことでございますので、私が引き継いだ時点で、この耐震補強の診断結果を待ちましょうということで、消防の事務局とは話をした経緯がございます。以上です。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 当時の東部消防庁舎建設について、緊急防災・減災事業債の活用についての協議もなされて、それから場合によってはTPP、それからPFIなど、民間の資金等の活用も検討していくという計画書が出されているはずですが、それについて管理者、引き継いでおりますけれども、やはりそれは踏まえて検討していると思われましても、これについて、町長として、管理者として、建てかえについて進めていくお考えはないのか。いま一度、ご答弁をお願いしたいと思います。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 答えいたします。先ほど答弁いたしましたように、当初の耐震の診断結果では建てかえだという結果があったということを引き継ぎの時点では聞いております。今議員がご指摘のとおり、いろいろなことも計画として話し合われたということも事務局から情報がございました。私は、皆さん方がこれだけ大きな事業をやるのに基金の積み立て等も全然見当たらないけど、予算書を見まして、これはどうなっているのかとい

12月18日（第4号）一般質問

うことを事務局との話し合いの中で聞きましたら、これは庁舎建設の計画性がまだまだ不透明な部分があるので、基金の積み立ても中断いたしましたということがございまして、そういうことだったらもっと踏み込んだ話は難しいかもしれないという話をしました。同時に、先ほど申し上げましたとおり、建てかえではなくて、耐震補強ではどうなのかという、そういった調査結果も12月末あたりに出ますので、そのときにまたきちんと報告いたしますという事務局からの話がございまして、現在に至っているということでございますので、ご理解をお願いいたします。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 それでは庁舎建設の積立基金については、次の質問で行いますけれども、まず平成29年度にかけては、やはり庁舎建設に向けての取り組みに動いていたはずなのです。ところが、新年度予算編成になって耐震調査が出てきております。これは、副町長の提案で出たと思いますが、管理者として決定した以上、耐震補強工事をしたとしても、これは建てかえより劣るわけです。それが建てかえと同様な強度を持って、向こう何十年間、同じように保証されるようなものであれば、それはいいかもしれませんが、確かに今月、調査結果が出るということがありますけれども、それを踏まえて検討するはずですが、しかしながら、当初の計画は建てかえをやっていくと。それが、平成32年度が、要するに尻が決まっているわけです。平成32年までに申請をしないと、防災・減災事業債が活用できない。そういう期限も迫っている中で、そういうお話を進めていくというのが、最悪の場合、平成32年の申請に間に合うのかどうか。これについては検討されておられるのか。部長、会議の中で出ておりますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 緊急防災・減災事業債は平成28年度から平成32年度までの起債となっております。しかしながら、最近、全国で大きな災害があることから、それも延長になるのか、そういったものの動向も踏まえて注視していきたいと考えております。また同時に、庁舎建設になると大幅な資金が必要となることから、構成3町、財政状況も勘案しながら、3町、そして東部消防連携して、慎重に議論を重ねていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 消防庁舎というのは、行政の庁舎よりも大事だと思います。3町の人口というのは9万人です。その生命、財産を守るためには、一番大事な庁舎だと思います。それに向けて、皆さんは資金の問題とかいろいろ、3町それぞれの財政問題を挙げておりますけれども、しかし、3管理者がその気になればスタートできたはずなのです。実際に平成29年度でこの事業を進めていこうと、その報告を受けました。管理者の皆さんがその方向で行ってきたのが、途中で少し足踏みしている状況にあるわけです。副町長の会議とか、防災担当の部長、課長の会議等で、そんなのんびり構えていられる状況ではないと思います。だから、もっと踏み込んでこの協議をしていかないと、平成32年度末には間に合わないのではないかと心配されるわけです。これについて皆さんは、先ほど部長は、延びるかもしれないとおっしゃっておりますけれども、その確約が取れるのかどうか。そういう感触があったのかお答えをお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 玉城 勇議員同様、我々も消防庁舎は非常に大事な施設だと認識しております。災害においては、非常に中心的な役割を担う場所だと認識しておりますので、これについては何ら変わらない認識を持っております。しかしながら、やはり庁舎建設については、3町、東部消防組合、同時に同じ方向を向いて、慎重に議論を重ねて、効果的な施設を目指していきたいと考えております。またこの同起債については、現段階では、平成32年度までとなっておりますが、動向を見て、これで終わるのか、今回も北海道地震とかありました。まずは東日本大震災、熊本地震ということで、こういった審査を踏まえてきていますので、その動向、同起債の今後の動向、推移も注視しながら進めていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 その動きがどのような経緯で入ってくるのか。本当に平成32年を延ばすような、そういう情報があるのか。皆さんはどのようにそれを入手するのか、それについてお答えをお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 これは正式では、文書で あったことはありませんが、我々、防災・減災につきましては、県の防災担当課と年に何回か研修会や連絡会

12月18日（第4号）一般質問

を持っています。その中でも、一応口頭であります、そういった感じのニュアンスの説明はありました。しかしながら、文書で決定ということではありません。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 説明はあったということでお伺いして終わりますけれども、是非一瞬の気も抜くことなく取り組んでいただきたいと思います。

それでは（2）と（3）が行ったり来たりすると思えますけれども、両方やっていきたいと思えます。それでは（2）についてでございますけれども、先ほどの答弁にもありましたように、東部消防庁舎が被災により使用不能となることのないように管理する必要があると答弁されております。先ほどもあったように、現消防庁舎は、耐震審査の結果、震度6以上で地震、震度及び衝撃に対して倒壊する危険性があると指摘をされました。消防庁舎そのものが被災し、使用不能となるおそれがあるという結果が出ているわけですので、それについてどのような対応をしていくのか。あるいは今後、仮にあった場合に、建設が間に合わないときに、かわりの庁舎がないといけないわけです。それがどのように計画されているのか。そのような協議をどのように進めているのか、お答えをお願いしたいと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 議員おっしゃるとおり、消防庁舎は非常に大事な施設であると先ほど答弁をしましたが、認識しておりますが、現段階で、消防庁舎が倒壊して、その後どのように対応するかということまでは確認しておりません。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 実は、平成30年度の東部消防組合の運営方針の中に、現消防庁舎は昭和55年に建設された建物であります。昭和56年に改正された建築基準法の新耐震基準以前の建物であり、平成29年度に実施した耐震診断の結果は、先ほど述べたとおりであります。それを受けて、平成29年11月に東部消防組合消防本部新庁舎整備庁内検討委員会を立ち上げておられます。それを受けて、平成30年1月に新消防本部庁舎整備基本構想（案）を策定し、今後、構成3町と基本構想案の調整会議を実施しまして、住民代表で構成する東部消防組合消防本部新庁舎整備基本構想検討委員会など、第三者委員会を立ち上げ検討してまいりますと、そういう方針が出されました。これについて、どういう構想検討委員会が開かれて、どういう内容だったのか。それをお答えお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 外部の第三者による審議会は、これから開催し、平成31年度にまとめると聞いております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 部長、これからということは、平成30年度で開催するということがよろしいのですか。平成31年度までまたがって、平成31年度にまとめるということになるのですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 平成31年度にまとめるということで聞いております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 具体的に、検討委員会が開催されたのか。これから選考するのか。その計画を教えてください。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 外部委員会はまだ立ち上げておりません。これから立ち上げて、平成31年度に向けてまとめていくと報告を聞いております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 本来ならば平成30年1月に立ち上げるという、実施でありますので、これから立ち上げをして協議をするということは、1年近くおくられている状況にございますので、早急に立ち上げて検討を進めていただきたいと思います。これは要望で終わりたいと思えます。

それでは（3）でございますが、ここで先ほど答弁がありました平成30年12月末に耐震診断の結果が出るということでございます。この結果がいつ、もう今月ですよ、出てくるのか。それが出ていつ検討会を開くのか。それをお答えお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 議会が終わって、今月調整会議を開く予定で、日程は調整に入っております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

12月18日（第4号）一般質問

- 1番 玉城 勇君 今月から立ち上げをして検討されて、年度内に結論を出せますか。どういう予定なのですか。
- 議長 知念富信君 総務部長。
- 総務部長 宮平 暢君 26日に会議がありますので、そこからスタートだと認識しております。これからスタートしていくと考えております。
- 議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。
- 1番 玉城 勇君 スケジュール表というのはできていないのですか。いつまでに、あるいは何回の会議で終わるとか、そういう話し合いはされていないですか。
- 議長 知念富信君 総務部長。
- 総務部長 宮平 暢君 今現在あるのは26日会議招集の文書のみ来ておりまして、中身については26日の会議で出されるものだと認識しております。
- 議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。
- 1番 玉城 勇君 これ以上進まないかと思えますけれども、ひとつできるだけ早目に、できたら年度内、忙しいと思えますけれども、早急に協議を始めて、できたら平成31年度の運営方針に、少しでも入れることができるようにやっていただきたいと思いますけれども、部長、意思はどうですか。
- 議長 知念富信君 総務部長。
- 総務部長 宮平 暢君 やはり大事な施設ですので、先ほどの繰り返しになりますが、構成3町、東部消防一丸となって、防災計画に資する建物になっていくように、検討してまいりたいと考えております。
- 議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。
- 1番 玉城 勇君 この質問は最後になりますけれども、先ほどから言っているように、耐震診断で平成32年度に申請するのか、あるいはTPPとかPFIで事業を進めるのか、この見きわめが必要なのです。平成30年度が、多分タイムリミットだったと思えます。ですから早急にこの事業を進めて、見きわめて、次のステップに進んでいきたいと思えますので、よろしく願います。
- それでは質問2のほうに、ここで基金についてお聞きしたいと思えます。先ほどの答弁の中に、中長期な視点を持ち、経費の平準化、あるいは事業の優先順位を明確にしていきながら、後年度への財政負担を考慮しながら、構成3町の財政状況などを総合的に勘案していきたいということで、そのような結果が出ておりますけれども、実は平成30年度の予算編成の段階で、東部消防には基金がございました。8,000万円余りありました。しかし、平成30年度の予算編成のときに7,300万円を繰り入れしています。本来ならば、基金を残しながら年間予算を組み立てるべきだったと思えます。3町がそのようにやると、確かにそれぞれの行政も予算が厳しいと思えます。しかし皆さんは、東部消防庁舎を建てかえるか、あるいは補強工事をするのかということまで来ていながら、この基金を取り崩したのです。先ほどおっしゃったように、基金を残しながら予算を組むべきだったのですが、なぜそうしたのか。これがなぜ78.9%なのか。その理解が非常に難しいのですが、どうしてそのように予算を削ったのか。3町の国からの交付税はふえているのです。ふえているけれども、消防への分担金は減らしたのです。それはやはり考えるべきだったのではないかと思えますけれども、その辺についてはいかがなのか。実は7,345万5,000円の基金を取り崩した。しかし、公債費が6,629万円もあるのです。その基金がほとんど構成に回ったという状況なのです。そうすると、来年度の予算は厳しい予算になると思えます。一気に3町の分担金がふえていくわけです。そこまで考えていたのかどうか。これはいかがですか。
- 議長 知念富信君 総務部長。
- 総務部長 宮平 暢君 今のご質問、何点かありますが、まず東部消防の負担金についての考え方なのですが、まず東部消防負担金については、負担金として必要な額があります。予算にすると一般財源不足分が負担金となります。負担金をどう配分するかという点、負担金が仮に10億円必要であると。10億円があるとします。3町の消防費における基準財政需要額が12億円あるとします。これは西原町が仮に5億円、南風原町が4億円、与那原町が3億円とします。すると合計で12億円。基準財政需要額が12億円、負担金で必要なのが10億円。この比率を出すと、これが83.33%です。これは仮の計算です。そうすると、西原町は基準財政需要額5億円に対して83.3%、南風原町は4億円に対してその率を掛けます。与那原町も同じ率を掛けてということで、合わせて10億円の負担金にということで計算しております。基準財政需要額を算定するというのは、そういうことで、各配分をすることで算定をしております。今回、なぜ78.9%だったかということですが、それは

12月18日（第4号）一般質問

今回、平成30年度の当初予算において、その額の負担金が必要であったと。その為に負担金として必要な額を計上して、基準財政需要額で算定して、かく3町で割るとそういった率になっているということでの認識をしております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 東部消防の3町の基準財政需要額というのは14億円です。平成30年度は14億円必要なのに、3町から出されたお金というのは11億円です。なぜそこで3億円近いお金が減額になっているのかということ、確かに東部消防の歳出需要額というのは、13億4,000万円あるのです。ところが11億円しか出していない。その2億円はどこから補?しているのかということ、基金繰り入れなのです。皆さんは7,300万円の基金を繰り入れしているわけです。東部消防がこれまで積み立てしてお金も入れて、なおかつ、消防債も1億1,700万円入っている。そのほかには手数料1,500万円、あるいは繰越金1,500万円、雑入1,500万円、そういうものを合計すると2億3,000万円になるわけです。それを差し引いたのが11億円です。この7,300万円の基金を繰り入れしなければ、3町とも合計して84%を負担しなければいけなかったのです。しかし、そういう基金も繰り入れさせて、皆さんは78.9%しか負担していない。これから調査建設をする消防なのに、何で減額したのか。皆さんは、昨年度と平成30年度と分担金を230万円、3町で減らしているわけです。しかし、基準財政需要額はそれぞれふえていますと思います。3町ともふえているはずですが、ふえているのに7,300万円の基金を繰り入れたために、3町の負担が減っている。それは近い将来、庁舎を建設する東部消防の予算としては、よくないのではないですか。なぜそこまで検討して、3町それぞれが7,300万円は負担しましょうと。繰り入れをしないで、そこまで検討するのが普通ではないですか。これをどういう気持ちで基金繰入をしたのか。それを教えてください。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 まず南風原町の平成30年度の消防費の基準財政需要額は5億2,200万円です。これに対して交付税で来るのが、南風原町は財政力指数、交付税は基準財政需要額から収入額を引いた額が交付税で来ます。南風原町は財政力指数が0.643あります。ということは、交付税で来るのが0.357です。ですから5億2,200万円に対して35%、いわゆる1億8,600万円になります。ということは、4億1,200万円の負担金を出していますので、差額2億円以上は町税から、交付税ではなく町税から負担をして、負担金として払っております。ですから、交付税で全額、払うべきものを払っていないということではなく、2億円以上もプラスして負担金を納めているということになっております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 確認しますけれども、与那原町と西原町はどういう状況になっておりますか。皆さんそれぞれの負担額を決定するときに、それぞれの状況があると思うのですが、それについてはどのような話し合いで、基準財政需要額に対してのパーセントで負担しております。ほかの2町についてもそのような状況で、今部長がおっしゃったような状況で負担をしているのか。本来、負担すべきなのか、先ほど言ったように負担しなくてもいいのか。それはどうですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 まず交付税につきましては、交付税はあくまでも基準財政需要額、収入額の差額が交付税で来ます。これについては、あくまで配分、全国、全市町村に公平に分配するための計算式となっております。また地方交付税法第3条第2項で、国は、交付税の交付に当たっては、地方自治の本旨を尊重し、条件づけ、またはその用途を制限してはならないと。国で、用途を、交付税は一般財源になります。ですから、幾ら払いなさいという制限はありませんので、これはご理解いただきたいと思います。東部消防に関しては、必要な負担金額がありまして、その額に対して、与那原、南風原、西原3町が、どの額を配分するかのために、基準財政需要額を計算式として組み入れているわけでありまして、基準財政需要額全てを負担金として出すというルールはありません。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 構成する3町が、東部消防の必要な金額について、予算について負担するのは当たり前ですね。単独でできないから組合でやっているわけです。必要な金額というのがあつたわけですね。これまでの努力によって繰越金も出してきました。将来に向けての基金があります。そういったものも全部組み入れて、予算を組んでいったのでは、消防独自の事業に大変行き詰まりが出てくると思います。皆さんはそれをどのように考えて予算を削っていくのか。本来ならば、皆さんが基準財政需要額と決めた14億円については、本来出すべきではないですか。皆さんはそれだけ必要だと思っはいるのです。

12月18日（第4号）一般質問

ところが、独自の歳入があるから削ってきた。しかし、平成30年度については基金の繰り入れをやっているわけです。本来それは繰り入れしなくて予算を組ませて、11億7,800万円の金額に対して3町が分担金として出すべきだと思うのですが、先ほど言ったようなことをやると出さなくてもいいとか、あるいはできる範囲とか、それをやると消防行政はどうなると思いますか。厳しい状況があると思います。しかも今回は、基金を繰り入れしておりますので、来年度以降公債費がふえるのです。今回の基金でさえ公債費分しかほとんどないような、来年はこれがなくなる。基金繰り入れもできない。公債費が7,000万円にもなる。そうすると3町の負担は一気にふえるわけです。これについてどういう思いでこういうことをやったのか。将来、どういう行政の取り組みで、予算を確保していくのか。もう一度お願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 消防行政は非常に大事な業務だと認識しております。また、必要な予算、必要な財源については3町で補?していかなければならないと考えております。しかしながら、先ほど答えたように、基準財政需要額全てが、これは消防が必要という、これはイコールではありません。あくまでも基準財政需要額というのは、交付税を算定する際における消防費の需要額の算定でありまして、これがイコール東部消防が平成30年度に必要な全ての額ということではありませんので、これはご理解いただきたいと思えます。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 ある程度は理解します。しかし、基準財政需要額というのは14億円です。東部消防が予算を組んだのは13億円です。ですから1億円近くは減っているわけです。努力しているわけです。向こうも、手数料も頑張ってもらっている。繰越金も頑張ってお出ししている。雑入も頑張ってお出ししている。4,500万円も頑張っているわけです。それに対して、構成3町は、もっと努力すべきだと思います。これはまた次回もやりますので、この辺でとめますけれども、最後に、本当に東部消防組合を健全に運営させ、また庁舎の建設を進めていくという思いを聞かせてください。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 防災担当を担う総務部としては、今回、台風災害時に非常に東部消防にお世話になりました。それは誰よりも認識しているつもりであります。また今後も、厳しい財政状況の中、南風原町、東部消防ともに厳しい財政状況の中ではありますが、両者、町民のために頑張ってお返し、防災・減災に努めていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 是非頑張ってもらいたいと思います。町長、副町長、よろしくお願いします。時間もないようでございますので、次に進めていきたいと思えます。

3点目の体育館の建設でありますけれども、先ほども宮城清政前議長からも質問されております。同じような内容でございますので、やはり先ほども町長がお答えになりました。どうしても中高年の皆さんが、土日ではなくて昼間、体育館を利用したいという強い要望がございますので、いま一度、町道5号線の間には挟まれた土地を活用した体育館の建設に向けての、町長の思いをお聞きしたいと思えます。決意をお願いいたします。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。先ほど宮城清政議員にもお答えいたしましたけれども、やはり学校施設といえますか、体育館は、学校専用ということがまず第一だと思えますし、今玉城 勇議員がおっしゃったように、中高年の皆さん、昼間の利活用というのもまた大事でございますので、私はそれを何とか、今回の黄金森運動公園の拡張にあわせまして、施設の整備に関しましては検討委員会で議論されると思えますので、諮問の際にそういった意見も付して、慎重に検討していただきたいと考えております。以上です。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 町長、ありがとうございます。町長と一緒に、新たな財源探しもやってまいりますので、よろしくをお願いいたします。

4点目はもう時間がないので、是非、この農園はこれからも一緒に検討して進めていきたいと思えますので、最後に新たな土地改良区で土地が探せないか、いま一度ご答弁をお願いします。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後2時42分）

再開（午後2時42分）

○議長 知念富信君 再開します。産業振興課長。

12月18日（第4号）一般質問

○産業振興課長 金城克彦君 ご質問の農園の件ですけれども、希望者がいるということでお話がありましたが、農業協同組合に確認しましたら、希望者にキャンセル待ちがいるという状況でした。内容を調べてみますと、農協で4畑がありまして、59区画を貸し出ししている状況ですけれども、本来、貸し出しをして、返すときにはまた新しい方が耕作できるような状態で返すのが原則なのですが、返すときにすぐには耕作できないような状況で返した方がいるとか、一応借りてはいるのですが、耕作しないで荒地地になっている状況があって、新しく来た方にすぐ貸すような状況にないという畑があるものですから、それでキャンセル待ちがあるという状況です。なので今回、こういうお話をいただいて、農協に相談いたしましたら、何区画か耕せない状況にあるものですから、そこをユンボ等を入れて、今後農協で整備して、今キャンセル待ちの方がいますけれども、整備をすればキャンセル待ちは解消できると聞いています。以上です。